

国交省「令和8年度新門司沖土砂処分場（2期）護岸築造工事」の2件の入札結果
東洋・本間JVが約11億円、第2次は五洋・あおみJVが約8.1億円で落札

国土交通省北九州港湾・空港整備事務所は18日「令和8年度新門司沖土砂処分場（2期）護岸築造工事」（一般競争入札（評価落札方式））を開札し、東洋・本間特定建設工事共同企業体が11億777万円（税抜）（落札率91.1％）で落札したことを明らかにした。

建設場所は福岡県京都郡苅田町空港南町地先、工事概要は東護岸及び中仕切り護岸の共通工、基礎工、本体工、上部工、被覆工、裏込工、腹付工及び消波工を施工、工期は2027年7月30日までとなっている。

尚（同）（第2次）は五洋・あおみ特定建設工事共同企業体が8億1,235万円（税抜）（落札率91.7％）で落札、工事概要は、東護岸の撤去工、基礎工、本体工、上部工、被覆工、裏込工、腹付工及び消波工を施工となっている。